

トヨー富士工

CLT特養を建設

トヨー富士工（葛飾区）が、ツーバイフォー

工法とCLT材（7層7

プライ）のハイブリッドな組み合わせを活用した特別養護老人ホームの建設に取り組んでいる。これまでCLT材を使用した共同住宅での実績はあるが、こうした大規模施設での適用は初めてだという。今回の実績を生か

し、新たな展開につなげる考えだ。

建設地は千葉県市川市北方町4丁目。建物の規模は木造3階建て延べ4522平方メートル。ユニット数はショートステイも含めて110床で、食堂や浴室などを備える。

現在、8月の引き渡しを目指し、内装工事などを進めている。現場担当

者は、「一戸建て住宅などに比べ材料そのものが大型となり、搬入や据え付けに苦労した。パネル



ツーバイフォー工法とCLT材を組み合わせる

数や固定箇所も多く、建て方は想定より時間がかかってしまった」と振り返る。一方で、「開口部が設けられた状態で搬入されるなど、現場での作業は省ける。仕上げ材の設置なども容易だ」といったメリットを挙げる。この工事で得られた知見を踏まえ、多様化する顧客のニーズに対する提案を増やす計画だ。

本施設の施主は社会福祉法人北友会（さいたま市岩槻区）。設計は奥野設計（中野区）が担当。